

広島県商工労働局補助金等審査会 環境・エネルギー産業集積促進部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会
環境・エネルギー産業集積促進部会

1 ヒアリング審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和7年8月21日(木)
開催場所	広島県庁本館 R4 会議室
開催方法	対面でのプレゼンテーション審査
出席委員	大学教授：3名、県職員：2名
議 題	令和7年度 広島県環境・エネルギー産業集積促進事業補助金（2次募集）
担当部署	商工労働局環境・エネルギー産業課 環境関連産業海外展開グループ

(2) 審査基準及び結果等

申請のあった5件を対象としてヒアリング審査を実施した。採択基準を満たし、委員の総合点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で補助採択候補事業として2件を選定した。

	評価項目					評価点		加点項目	合計	採択予定	
	採択基準(適・否)	申請者の新規性	社会的な意義	事業化の実現性	開発能力	計	平均				
配点	適・否	25	25	275	275	600	120	5	605		
申請者	A	否(※)	25	16	125	127	293	58.6	5	298	
	B	否(※)	25	17	163	192	397	79.4	0	397	
	C	適	25	17	174	192	408	81.6	0	408	○
	D	否(※)	25	17	144	150	336	67.2	0	336	
	E	適	25	18	186	199	428	85.6	5	433	○

(※) 審査要領において選外と定める下記基準のいずれかに該当する。

- ・評価点の平均が満点の6割(72点)に満たない案件。
- ・上位2件により予算額に達したため、予算額の範囲外となった案件。

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
A	・独自の技術力やノウハウがあるわけではなく、市場性が特にあるとは考えられない。 ・前提である炭炉の運転管理方法の確立の可能性が未知数である。
B	・440 nmの光による植物への影響は不明であり、クラス3が前提となるのであれば、当該技術の実施可能性が不明な状況と思われる。 ・販売戦略について連携事業者と連携した対応が検討されており、具体性がある。
C	・技術については実施可能なレベルと思われる。実施体制のバランスは妥当と思われる。 ・鳥獣対策への適用は圃場での虫害対策よりも実現性が高いと感じる。
D	・調査データを集めるだけに終わってしまう事業になる可能性が高い。既存研究をもっと活用しながら進めていくべき「研究」である。 ・人の体感を見える化しようとする姿勢は評価するが、市場性については疑問である。
E	・新機能を有するグラインディングセンタの開発であり、当該機器を用いた物作りでのブレークスルーが期待できる。 ・本技術の確立は環境課題の解決のみならず工作機械の新たな技術開発にもつながる可能性を有すると考える。